

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2016

8月

No.27

 兵庫県立尼崎総合医療センター

だより

[部門紹介]

情報管理部

「AGMC:
離陸 ~ 予定航路 ~
その先へ」



(元阪神タイガース 故村山 実選手像)

[診療科紹介] 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / ER 総合診療科

- 県立尼崎総合医療センターと一緒に地域医療連携を担う442の登録医療機関
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき
- ぶらり〜っと病院探訪

スタッフのつばき

| 医局:330名の医師の集団



2016年度医局長 米田行宏(神経内科)

ベッド数730床、医師数330名。

当院は、兵庫県下では、2つの大学病院に次いで3番目のベッド数と医師数を誇っています。医局には、全医師がフロア全体に机を並べており、医師同士が直接に顔を合わせることができるため、各診療科の交流に役立っています。

医局秘書2名は、医師全員の事務処理や医局内の物品管理など、医師が働きやすいような環境を整えるサポート役として活躍しています。

医局行事としては、毎年12月に行われる病院全体(医師、看護師、薬剤師を含めた全職員)の親睦会(忘年会)での研修医(1年目19名)のパフォーマンス芸(?)が好評です。



ぶらり~っと 病院探訪



病院の医療レベルを押し上げるために大事な部屋!



新しい知見と医療技術の習得

スキル・ラボ室と教育研修室

今回は医師や看護師、薬剤師などが、勉強会や実習をするスキル・ラボ室と教育研修室を訪ねました。病院の4階北側の棟に二つの部屋が並んでいます。奥まったところにあるので職員以外は立ち入ることができません。ちょっと覗いてみましょう。

スキル・ラボ室は学校の実習室に似ています。壁面に並べられた大きな棚には心臓マッサージの練習に使う人形や、点滴を採る練習のための腕だけの模型などがダンボールにしまって積み上げられています。毎年春には新人看護師がこれらの人形達にすいぶんお世話になっています。先日は、1年目の初期研修医が豚皮を使って縫合実習をしていました。ときどきダンボールから人形の足だけが飛び出したりしますので、夜中に独りで入るのは避けたい場所でもあります…。

教育研修室は、授業を受ける教室と同じです。スクール形式で20名程度を収容できます。大きなホワイトボードが備えられていて、プロジェクターを使つての講義や症例検討会などの勉強会によく使用されています。



医学や薬学・看護学はどんどん新しい知見や技術がでてきます。学校で学んだ知識は年月とともに古くなっていきますので、医療従事者は若手だけでなく、ベテランも日々の勉強が欠かせません。これらの二つの部屋は、病院の医療レベルを押し上げるための大事な施設なのです。

編集後記

朝の出勤時にクマゼミの「シャンシャン…」と鳴く声を聞く季節になりました。もう、夏本番ですね。今年もぐんぐん気温が上がってきています。外出時は、熱中症の危険からしっかりと身を守るアクションをとることが必要です。適度な水分と塩分の補給をおこない、こまめに休憩をとるようにしましょう。また、日々の疲れを溜め込まない様に十分な栄養と睡眠を心がけて、蝉の声にも負けないよう元気に暑夏を乗り切りたいですね!

(T.H.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索